

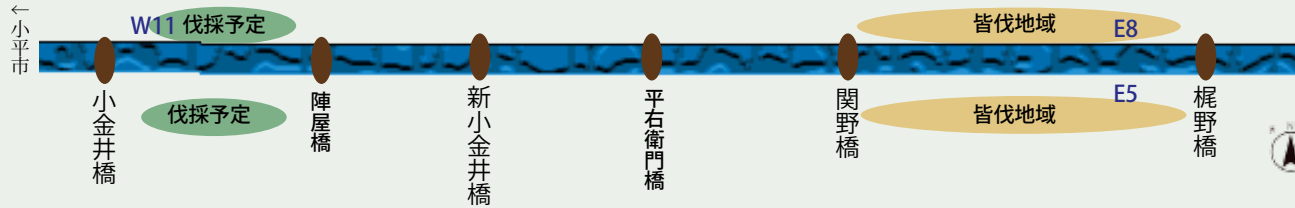
# 玉川上水遊歩道の地表温度調査を実施

温度差の大きい2日間をピックアップしました。今夏の最大温度差は **35.6℃**

日時	小金井橋の下流 (伐採予定)	梶野橋の上流 (皆伐地域)	温度差 (最大) *午後1時~2時にかけての測定	
8月7日	W11 31.9℃	E5 67.5℃	E5-W11	35.6℃
8月9日	W11 31.4℃	E8 56.9℃	E8-W11	34.2℃

\*温度調査の詳細はホームページをご覧ください

8月7日猛暑日、樹木が残っている表紙写真の場所の地表温度は31.9度。伐採された梶野橋上流E5地点は67.5度。温度差はなんと35.6度。



木の力ってすごいな！  
緑を守って  
温暖化を止めよう！



伐採された所と、緑陰では何度ぐらい違うのだろうかという素朴な疑問から調査を始めました。今夏で3回目です。一昨年は冷夏でしたが、高温の日を選んで測定しました。最大温度差は26℃でした。昨年は今年同様猛暑で最大温度差は33℃。今夏は、猛暑日の11日間、小金井橋から梶野橋の区間の14カ所の地表温度を測定しました。温度差が怖いくらいに年々広がります。緑陰の大切さが身にしみます。

## 伐採された跡地には多くの外来種やつる植物がはびこります



外来種のヨウシュヤマゴボウ。黒紫色の果実とゴボウに似た根は有毒です。



外来種のアメリカオニアザミはすごい繁殖力です。この綿毛が飛んでどんどん増殖。



クズの群生。外来種ではありませんが、一面を覆い尽くし、他の植物が育ちません。

## こだまの活動記録

### 伐採計画の説明会



<昨年12月11日>  
小金井桜植樹のため伐採予定の樹木の説明会に参加。残して欲しい木を市と水道局に交渉しましたが、中々望み通りにはなりませんでした。



マーキング <8月2日~10日> 猛暑の中、水道局の了承を得て上水の柵内に入り、残して欲しい貴重な植物を囲いました。25カ所マーキングをしました。一斉に除草しないで刈り残してもらうためです。



### 植物観察会

<3月30日> 上水付近に咲く草木の観察会を開催。1本の木が切られるとその木の葉を好んで食べる虫が来なくなり、それを捕食する鳥も来なくなります。